



交野市議会議員 みうら 美代子

【自宅】〒576-0033 交野市私市6-18-28 TEL・FAX: 072-893-0199

<http://www.miura-miyoko.net/>

【議会】〒576-8502 交野市私部1-1-1 TEL: 072-892-0121(代表)

みうら美代子

検索



交野市の人口は、2010年の77,686人をピークに減少に転じています。転出などさまざまな要因がありますが、出生数は2000年は880人、2014年には572人に激減しています。また、年少人口は2000年以降減少を続けている一方で、高齢化率は2000年の12.0%から、2015年には25.7%と増え続けており、今後交野市の少子高齢化が加速化することで、交野市民の生活にどのような影響が及ぶのか心配されるところです。今こそ、地方創生・人口減少に歯止めをかけなければとの決意で、住み続けたい安心のまちづくりに、さらには子育て支援に全力で取り組んでまいります！

みうら美代子の視点

〈12月議会定例会より〉

1. 星田駅周辺のまちづくりについて

【現状】 星田駅北側から第二京阪沿線の地域46ヘクタールの大規模開発が進められており、平成26年度には約4,400万円(主に土地区画整理事業計画作成業務など)、市から支出されました。

大規模商業施設を核とする星田北エリアと、商業・医療施設と住居エリアとなる星田駅北エリアの開発は、当初2年の差がありましたが、両地区とも事業化検討パートナーの協力を得て、今はひとつのエリアとして統一感のある考え方で進められていることを確認。今後、星田駅

周辺土地区画整理総事業費138億円(想定)に対して、市の財政出動が30億円が想定されています。

【課題】 学校の雨漏りなど校舎の老朽化やトイレの洋式化も喫緊の課題であり、また、公共施設の老朽化問題、大雨時の浸水対策や土砂災害対策などの課題も山積みとなっています。そのなかで、本年4月に交野市新学校給食センター(小中学校用…愛称・おりひめ給食センター／倉治9丁目)、平成29年夏に新ごみ処理場(私市9丁目に建設中)が稼働予定で、将来の財政負担が気になるところです。

さらに、四條畷や寝屋川など、周りにはすでに大規模商業施設があることや、交通の利便性の高いJR河内磐船駅周辺の活性化などの課題があります。



▲星田北エリア



▲築44年の市役所



▲築52年の交野小学校



▲おりひめ給食センター



▲新ごみ処理場(建設中)

【今後の方向性】 既存の課題とバランスをとりながらの厳しい財政運営になると考えます。しかし、星田駅周辺のまちづくりが成功することは、交野市にとって大きなインパクトと活性化につながるため、財政健全化と合わせてしっかりと見守ってまいります。

2. コミュニティバスについて

【現状】 コミュニティバス運用の要望に対して市は消極的で、「現在、バス利用に対する市域のニーズに変化がない」との考えですが、まず**ニーズ調査を実施すべき**と要望しました。



現在の京阪バスの乗客数は、交野営業所管内のデータでは、平成25年112.5万人(一部交野外地域含む)。一方で、ゆうゆうバスの利用者は、平成26年度で8.7万人。数年前のアンケートでは、**無料の外出支援バス「ゆうゆうバス」の利用者の6割の方が、ゆうゆうバスを週1~3回利用**されるという人気ぶり。しかし、ゆうゆうバスのバス停が遠い、バスが走らない地区の市民にとって不満感・不信感・不平等感があり、「**お金を払ってでもゆうゆうバスが近くを走ってほしい**」というお声をよくお聞きします。

【課題】 市民ニーズに応えるためにさらに無料ゆうゆうバスを増やせば、京阪バスは競合路線の撤退を決断せざるを得ないかもしれません。しかしそうなれば、通勤・通学者や65歳未満の人が困るという状況となってしまいます。一部の人に利便性の高いゆうゆうバスですが、これから高齢者は増え続け、ニーズも広がり、現状では限界です。そのため、既存バス会社と協力してミニバスの運行ができないかを考え、**高齢者にも安心して住み続けたい街となるよう、外出支援の充実を強く要望**しました。副市長は、ゆうゆうバス・路線バスの関係について「**一定の方向性を今年度中にまとめたい**」と答弁。今後も議論を深めてまいります。



みうら美代子が気になるアレコレを調査!

トピックス2016



■File 001: 「ブックスタート」事業が開始

昨年12月より「ブックスタート」として、4ヶ月検診時に絵本のプレゼントが開始されました(原則、毎月第1火曜日13時~ ゆうゆうセンターにて)。同時に司書さんが、絵本のすばらしさや、赤ちゃんと保護者が絵本を介して向き合うことの大切さなどを丁寧に解説。この事業は長年要望しており、今年、大阪府の予算を活用することで実現しました。



■File 002: 病児保育室の開設

病児保育室の開設に伴い、病児保育がスタートしました(平成27年11月~)。交野病院内で事業委託が開始されたので、お話を伺ってきました。現在の定員は4人。しかし、病気の種類によっては同室は困難で、その判断に医師が悩むそうです。また、病気のお子さんをお預かりするため目を離せず、保育士のご苦労もお聞きました。



■File 003: 子育てコンシェルジュの設置

まもなく、子育てコンシェルジュが設置されます(平成28年4月~)。コンシェルジュの活躍で待機児童が解消された先進市・千葉市へ視察に行きました。保育サービスの利用や子育て支援サービス全般の利用に関する相談等、きめ細やかな対応で安心のサポート体制に驚きました。交野市にも取り入れていただけるようにがんばります。



“かたの”の未来は、みうら美代子におまかせください!